

和
增補
西
東
彙
編
五



繪本寶鑑卷之第二目錄

第十一

李左白

第十八

林和靖

第十六

王羲之

第十七

黃乙公

第十八

金蒼石

第十九

蔣武

第二十

毛宝白毫

第二十一

曹娥

第二十二

漢閣

第二十二

賈寫

第二十三

日能

第二十三

三笑

第二十六

嵇及之教

第二十七

高山四皓

二十一

七賢

二十九

仙美叔許

三十

竜門

三十一

猿高志

二十二

いんらん
ささるん様

二十二

一巻二局

二十四

瓢箪推鮓

二十六

牡丹睡猫

二十六

陶淵明

二十七

孫明府

第十回 李大自
 李大自は酒と好し詩と能なり。恒子沈碑志て乃
 踏まて人下杖らる。然と見らる大庭山より時
 たり。形跡変下ニ子尺敷是銀河落九玉と
 作らるも李大自也
 い沈水と八雲殿
 隠さる新よ描を
 し又喜みりり
 李白の縁と抱き
 ちやうめを描たり
 けふらるし

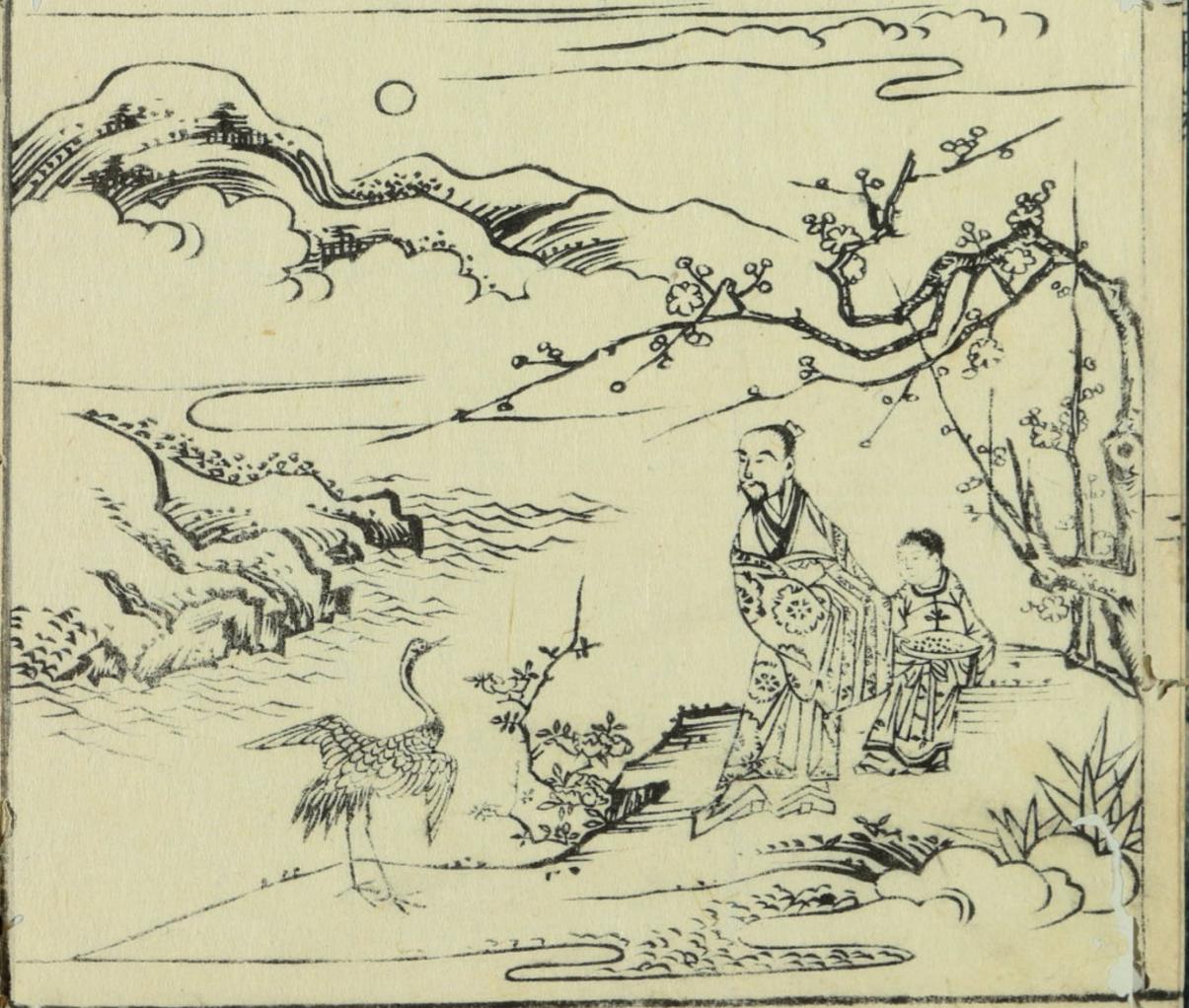


會大

第五

林和靖

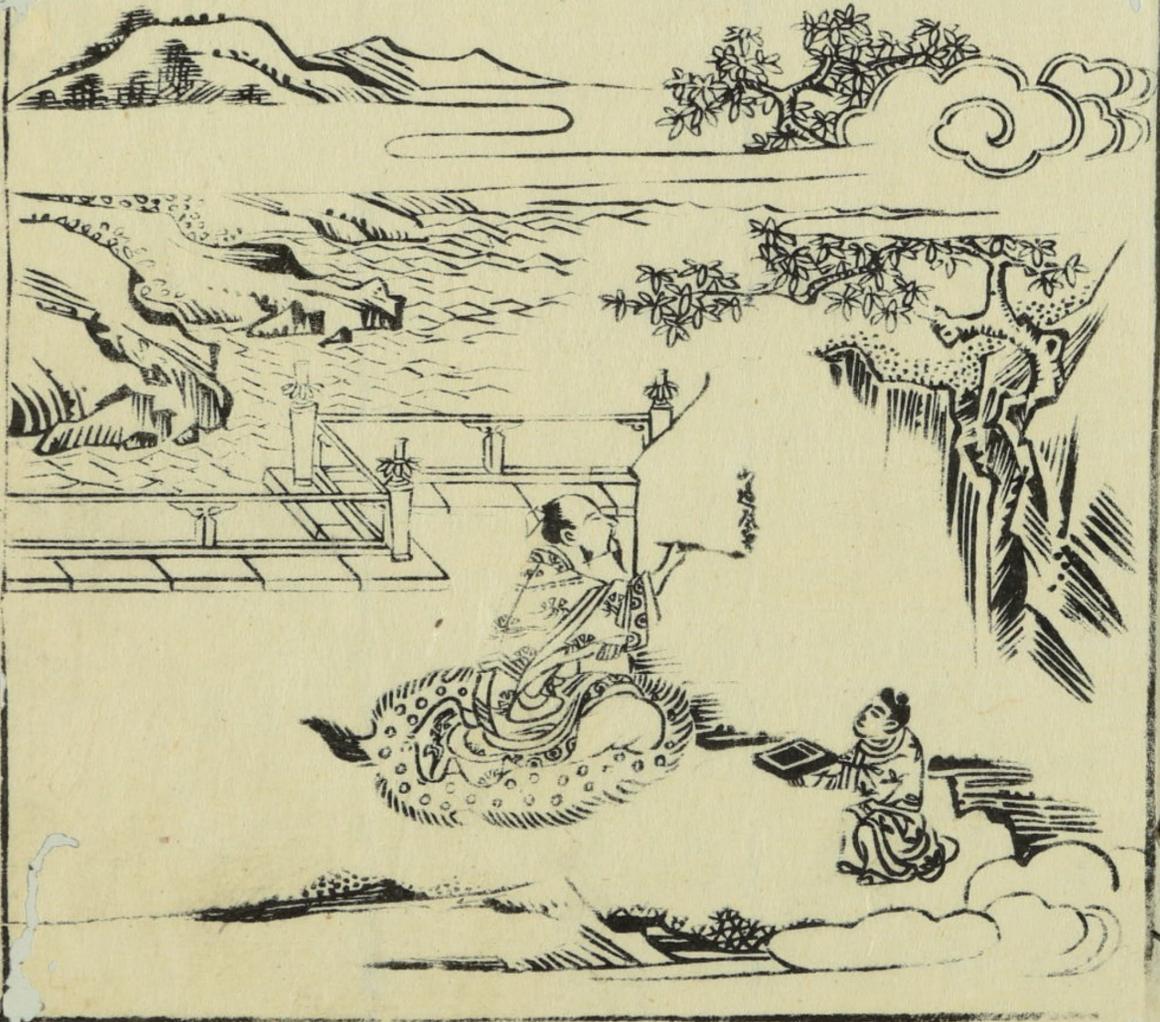
梅和靖詩
 午生不道之養林
 菊爲とほとほ
 句りり又月と
 梅花三志恨多丸
 河れをいふと叶へ
 て撒とに八梅も
 月とと
 白し



才十六

王羲之

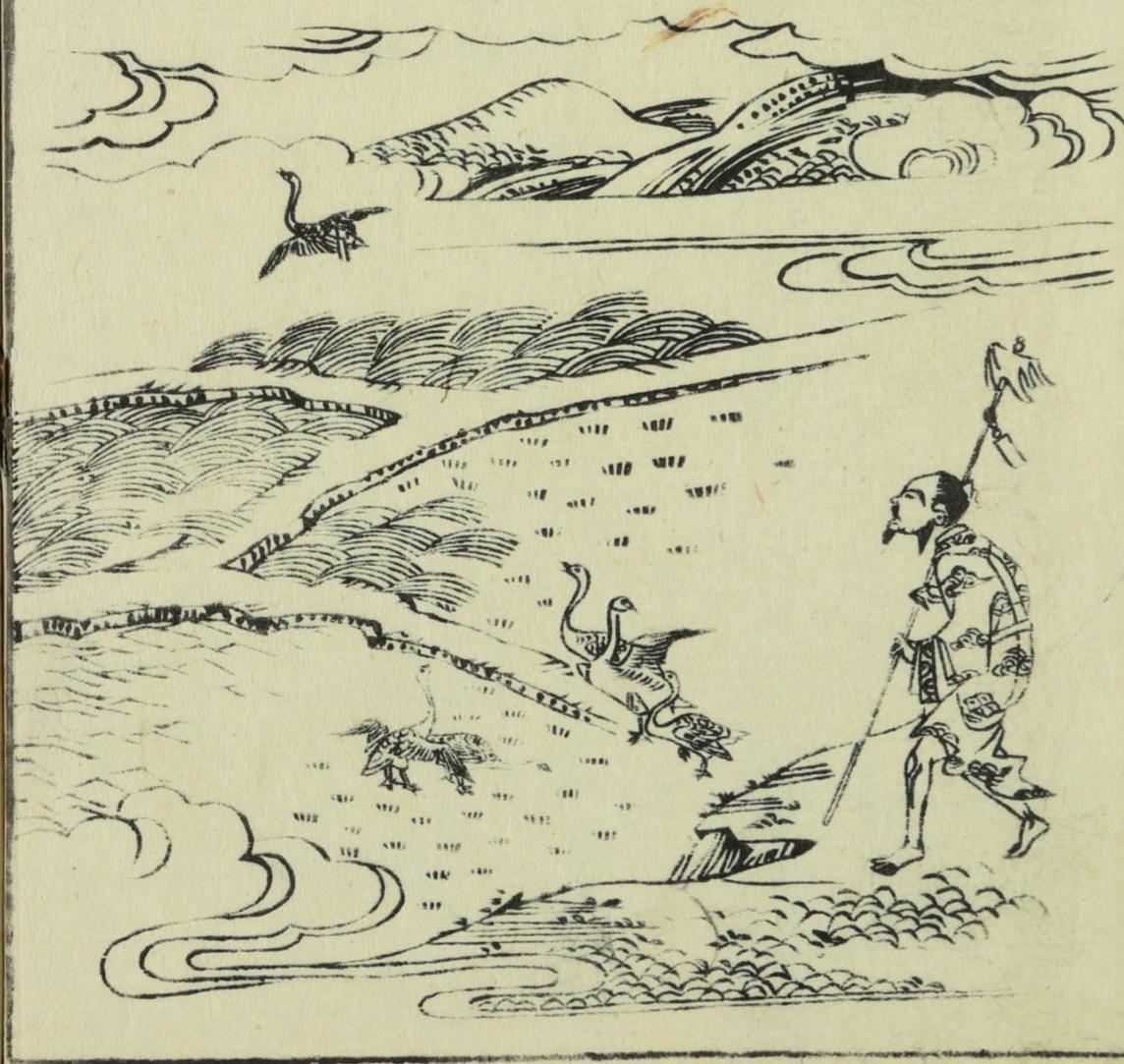
王羲之ハ晋の代
 の人あり。文子巧
 小の筆に似たり。
 阿まの筆勢剛
 志と石より入る
 三統とと



私とまうるん心のうちを将に子に承
たれどもこととありあけよ。あつ時ひらの
るのねえと解り翔せしが玉城のん天を
通しよりるんげるおとて飛ける。故
に漢の武帝に子位子即位し。こと
昭帝とすけり時。匈奴と和議のりありて
匈奴は行きたる。いづれに上林園にて
ひらの鳥と解りあまふ。おとにひらの鳥
書あり。もとばふ。匈奴は中にけり。と
こととありて。匈奴はよまう。あつた
志あり。匈奴は種武とけり。いづれにけり。

信もことと詭て種武は死ぬ。その時上林
園を行て。鳥と解り。種武が文ありしと
か。ことと詔けり。あつた。あつた。種武と
入し進せり。種武は大官大賞と賜り。考
八十餘にして死。その也。信の文とつて
し。匈奴種武と死。けり。ことと。いづれに
し。匈奴種武と死。けり。ことと。いづれに
りて。帝は林をにけり。鳥と射けり。種武
が文ありしと。信は。いづれに。種武
者と。けり。匈奴は。種武と。いづれに。種武
ふ。匈奴は。種武と。いづれに。種武と。

破るるの書と
何れしふあはれ
昔一恵の計を
出さる世よひ
何れしふあはれ
えあらしむ
こそしむらむ
の便とる便
さとはるむ
りり

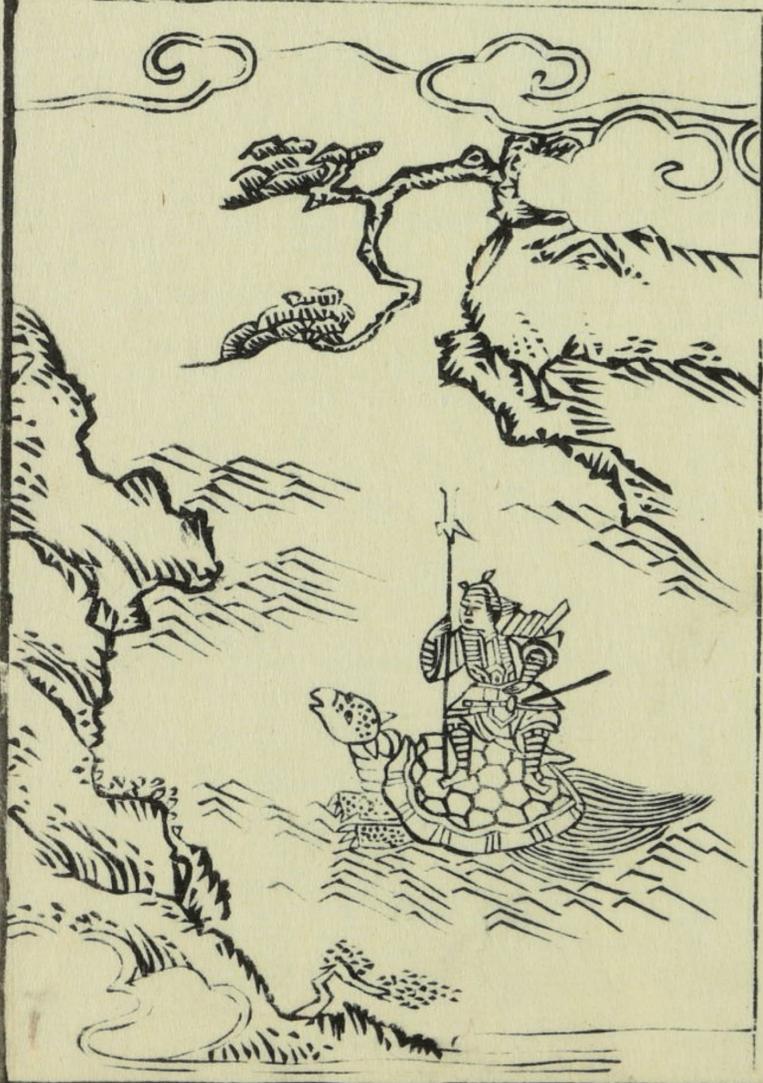


第廿

毛竈貝白龜

晋の毛竈字ハ碩真。棠陽陽武と云ふ所なり。
征虜將軍豫州刺史あり。西陽の太守に樊峻
と号す。一萬人の兵とあり。邾城と固めし
時石虎と号す。二弟の兵とあり。毛竈
と攻城とあり。毛竈退くは小おひし。毛竈
溺きて死す。者おひあり。毛竈を又死す。
毛竈初に武昌と云ふ所ありし時。毛竈内
の者市あり。白龜と買ふ。大あり。江
ふらる所とあり。毛竈に志さる。邾
城を居る軍散る。毛竈と号ぐ。ちりて

江よともしくさた。甲くあふかあまうーが。ちあう石
 のとふあうとそえて。あやあをかんをたは。は。亀
 あり。あめあ人ごうりあり。は。あ。あひらんを
 の。口く。東の
 岩ふ。と。急を。
 還と。急あう
 急の背に死を
 た。と。あ。り。を。と。
 急。急。急。急。
 と。と。と。と。陰。陰。の
 か。す。や。あ。り。



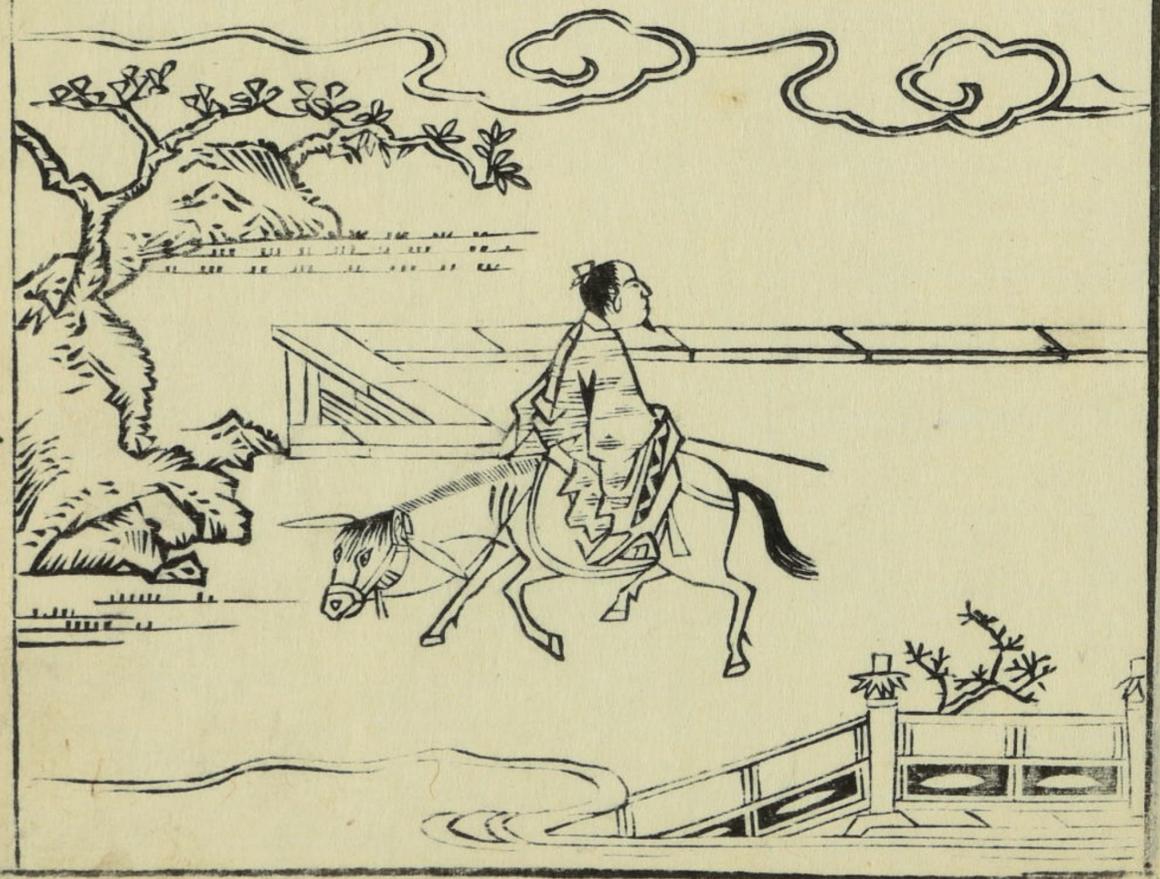
第一 魯婦

齊乃玉より魯の玉とらんとして。時齊魯の
 流。一。人の婦。兄の子とて。我子と捨て。お。つ。ら
 齊乃。武。女。と。捕。つ。て。四。女。の。い。り。く。い。り。さ。け
 る。ハ。我。兄。の。子。あり。捨。つ。ら。ハ。我。子。と。て。齊。の。人
 是。と。さ。さ。て。か。く。乃。じ。き。い。あ。一。た。女。う。み。ら
 け。り。齊。乃。玉。を。捨。り。たり。玉。あり。と。さ。く。其
 と。や。め。く。ゆ。る。魯。の。玉。是。と。憐。れ。て。納。る。上
 婦。人。う。り。り。人。捨。ふ

直なる者は

徳ありしや

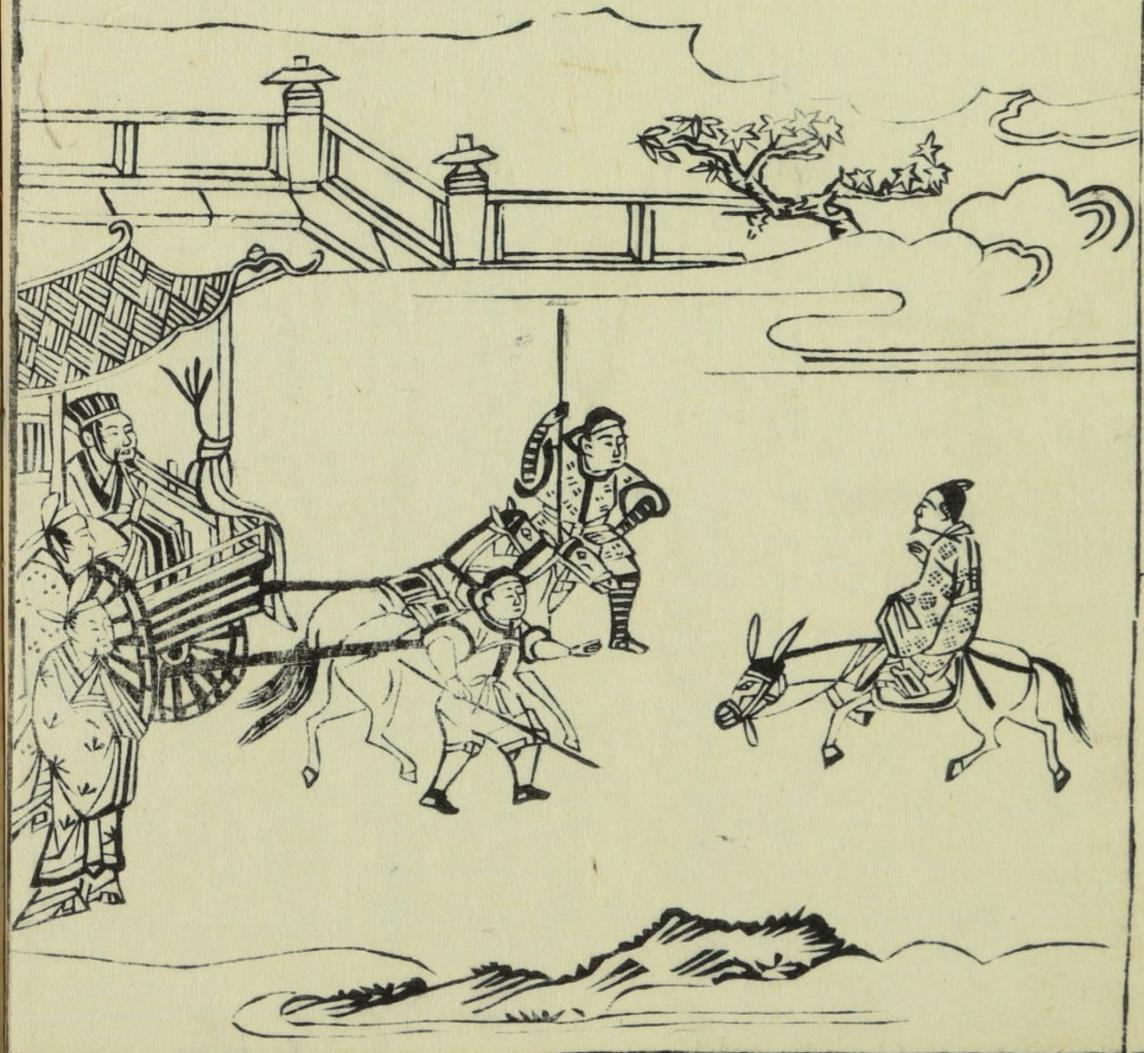
坊二 潘園
 潘園八園の穆王れ
 星地小落く八正の
 と化は驄駒驪驎驠
 驪駒駒中を驎
 八尾を奇あり友乃
 馬の尾とやめさる
 其の尾のありかり
 されバ穆王遂續



設の字に改るる
題李穀函居

賈嶋

閑居少隣並
草徑入荒園
鳥宿池中樹
僧敲月下門
過橋分野色
移石動雲根
背去還來此
幽期不負言



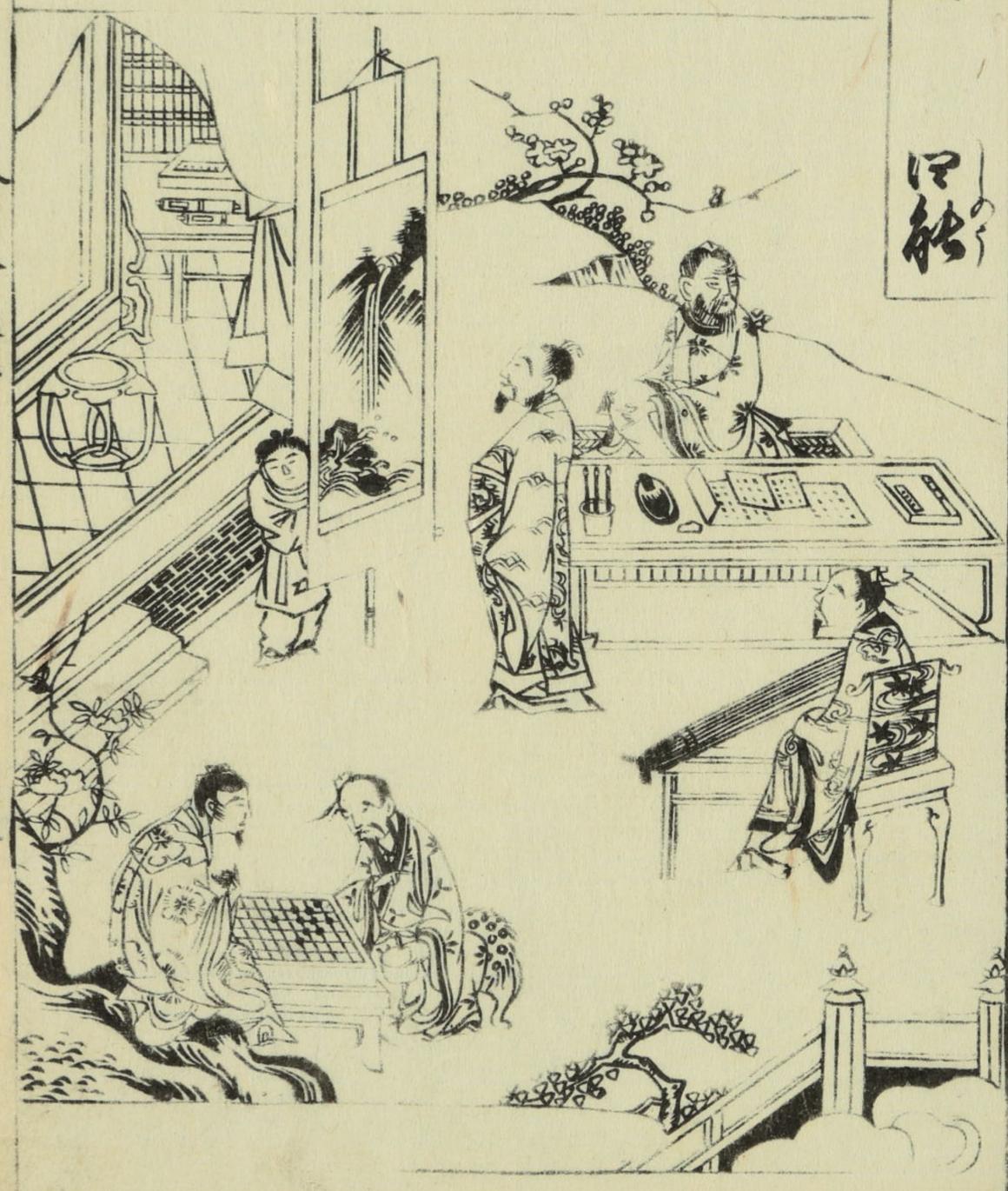
琴

日終

碁

書

畫



其二 三笑

三笑といふ人笑あり。二人の惠遠は神陸神陶

神陶のこれあり。虎溪を三神虎溪
山ふこもつら時。
陸神神陶の
あひ入る酒とす
む。神のあり恵
をといざらひお
けり。虎溪と都



と竹のり。慧色のすもわとと。虎溪の橋と誠し
うが。二人をこり。大少のあり。海と流ゆる
とあり。け二人。何代ら。いり。とを。い。と。り。て
ひり。より。か。り。り。

其二 酩酊之教

三教ハ儒教道ノこれ教あり。儒ハ孔子聖人。礼
仁義礼智信天地常道人と生む。て。孝と人
し。り。へ。く。ひ。これと。孝と。父母の孝あり。其孝あり
ん。あ。し。君の忠と。け。ひ。ん。と。正。一。身。と。徳。と。あり
天下平あり。も。神の教あり。秋ハ秋迦。好。と。る
て。殺。生。偷。盜。邪。淫。高。浪。と。戒。め。信。行。ハ。金。帝。なる

中へ秦れ
 始はの成め
 人ありしが
 秦の記と
 避て高山
 へま
 とかり
 賢人作て
 必ふ時八
 千の
 ともや



妙ハ
 七賢ちちせん
 七賢ハ。松山康況。沈務。沈威。向秀。刘伶。山涛。王戎。
 是なり。晋ハ。乱と。起て。竹の林。に。おれ。琴酒酒。
 とり。つ。たの。み。と。と。な。山涛。王戎。ハ。お。つ。ふ。
 の。ろ。ふ。人。ハ。沈。り。も。と。世。り。と。と。入。賢。と。と。
 入。賢。と。と。い。り。

いけへの七の明らに

けくろもぬをほく
 人ふと

けりま



廿九

伯夷叔齊

伯夷ハ兄。叔齊ハ弟。父孤竹の老。老々死せん
 と世の時いづかもしれる人。弟叔齊も代と儀え
 一と言とせし。一々々。叔齊ハいふ。老言かつて
 兄伯夷とをさす。代と嗣人等。あるべし。代と
 言く。位子即ち。伯夷ハ兄。兄あるとて。父乃
 命とす。しむ。代と續と理。あるべし。代と
 云く。よ。小徳儀。一。弟叔齊。あり。そ。う。ん。に。ハ
 去。と。弟。湯。山。子。か。れ。ぬ。兄。伯。夷。も。れ。を。ま
 へ。と。取。れ。ん。と。是。れ。も。湯。山。子。り。ん。と。取。り。て
 ぐ。善。る。は。が。り。か。た。に。取。り。ぬ。る。か。く。申。ひ

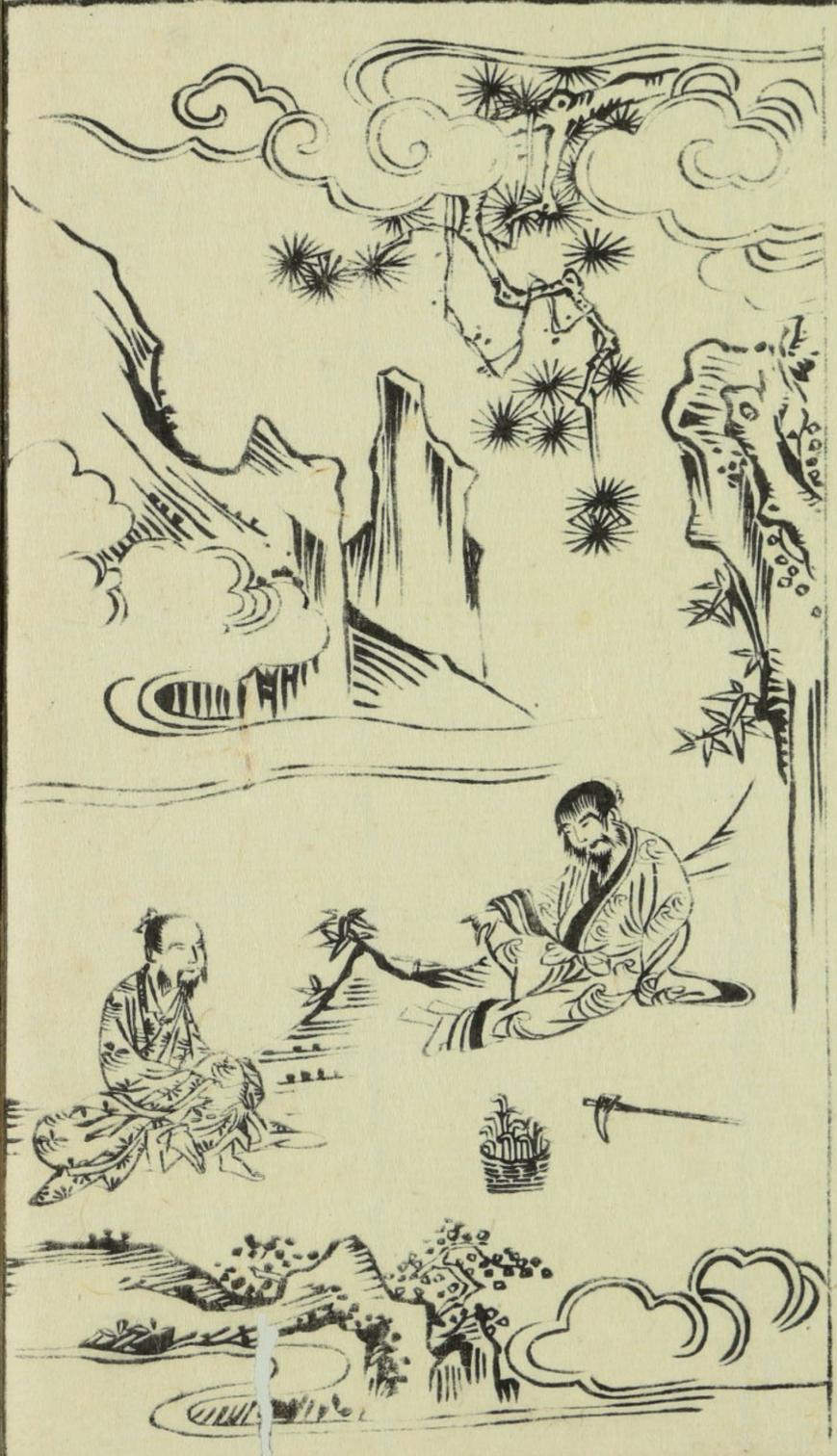
維新卷三

其六

と高く位と踐ちじ其後既のそ子殷の紂王
 惡逆无たけそ人其憂へあふは武王其を
 あつめこそと亡さんた。伯夷いふも其
 いく。既して君を弑らる紂が怒るは起り
 その人君の父文王崩御あふいまは喪の中
 子ありまもや。忠なるふはけり。中
 不武王崩ひとこそよか立ふ伯夷於是
 ちがわし。そめんは軍士こそとるそ
 とそ害せんこと。太公望もいふ。わ
 義人あり。殺しことあり。ふはけり。ゆ
 死と免さく帰るも。武王終に紂王と亡

天下百歳と唱へかむ伯夷とるもこれ人と
 立くこととたそ山ノ麓まそ。粟
 運ひふとそ月ノ粟とばこれ食つとそ
 勅よあふは彼のいく。めんし今勸と
 命と響くはそ陽山ノ月ノ地おりそや月
 地。やそ。びされ。これとそ。月
 とそ。びあり。それと食て月ノ粟とば食
 と不食りそ。とそ。め。れ。を
 不極ありとそ。勸と食せば。七日
 子似くと死し。ふ。れ。と。胡
 魯詩と首陽山倒成平地始應無人説姓名

さく青陽山にさうれく平地とありたけいんすれ
貫名いづし海にありし湯ハ大山あり



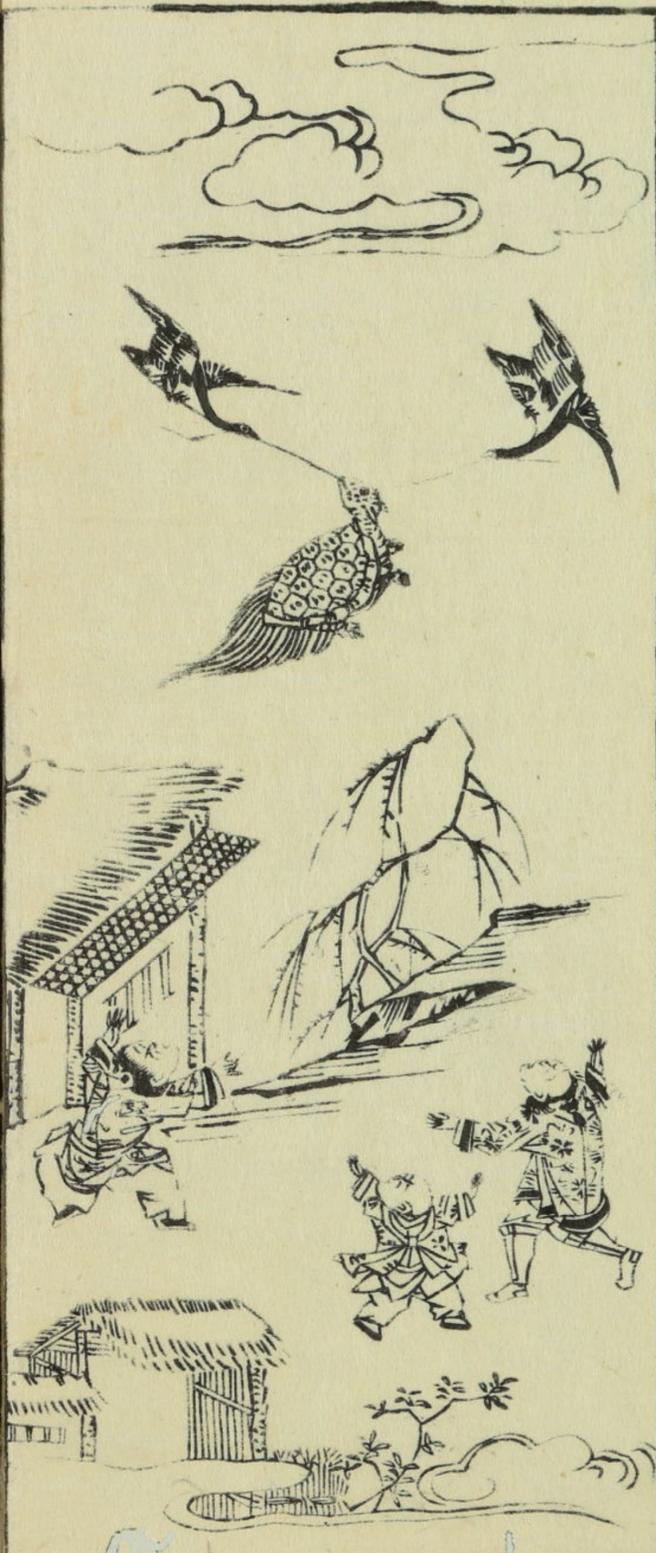
龍門

三十
龍門山ハ大蛇ノ成言レ維ヨリウシ崑崙山ヨリシヨリ
大華山ト云フモ今ハ海門津門ヲシテ
匠ノ匠アルモ姑ハ一室アリシト其禹王ノ時ニキ
作リテ今モあり六桃

花多一三月三日
小魚ハ龍ノ下ニあ
つらノのつらしむ
桃花の水と香を
小化とくくしり
らり



ふのこい、いれらるゝ何ぞもい、いぬぐまゝなり。志
れども、郭の急れあまをにきくゆり、たにその
しつり、はやよとふかゝるべし。子育、多言を
教子、一黙、まはさうと、ゆるや

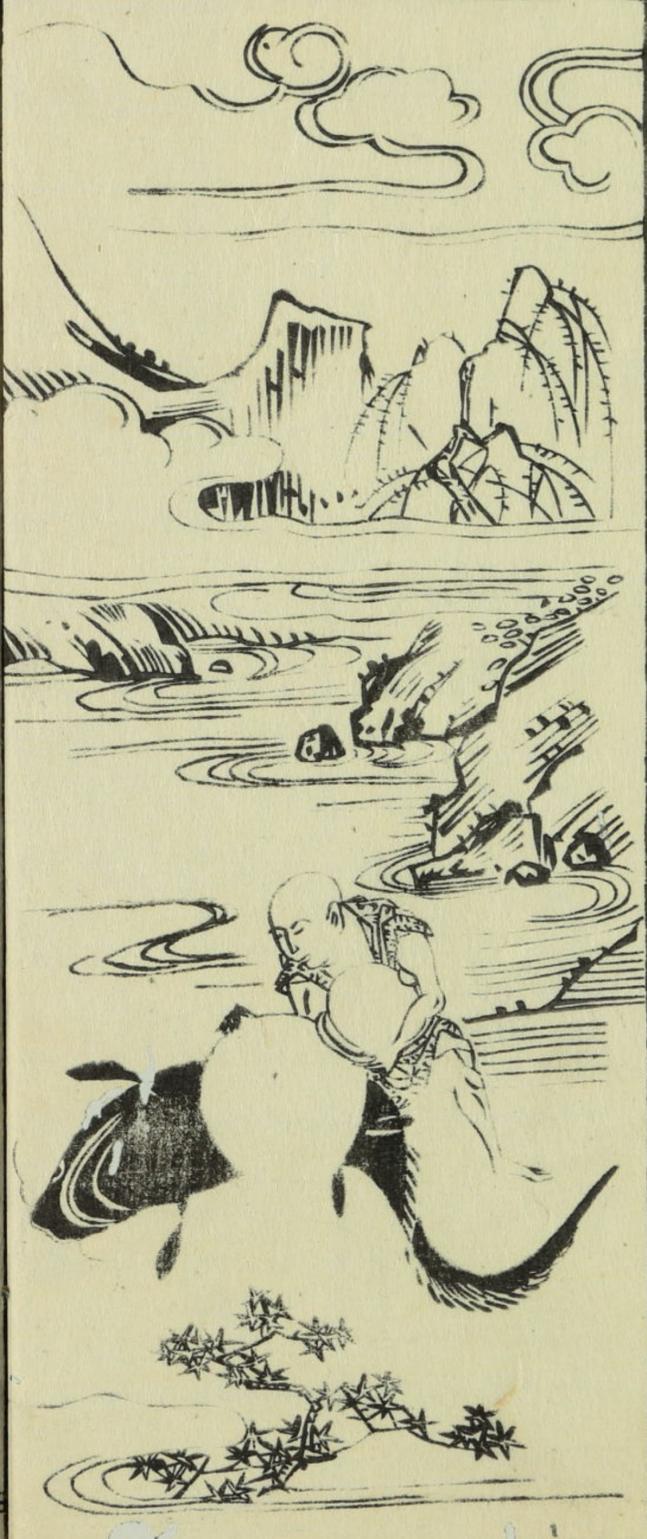


此に

瓢箪推絵尾

葫蘆子如推絵尾、人間十隻九、教之。人乃の平生、人
れを致、いひ、えんあき、絵の尾と推と、く、り、必
と、り、びりし、し、ば、え、又、ま、く、く、ま、し、事、え、十、ハ
九、り、が、ふ、の、あ、つ、て、ふ、ま、し、く、く、あ、ら、わ、ら、の、こ、い、ぬ、ぐ、ま、ま、
が、ハ、ぬ、埋、り、し、ゆ、せ、た、い、易、ハ、變、易、あ、ま、か、つ、い、と、い、
易、と、し、り、天、地、の、ろ、常、あ、ま、で、變、あ、ま、あ、ん、ど
定、め、あ、ん、能、多、川、の、瀬、あ、ま、し、花、や、う、な、り、多、
將、と、な、り、恨、を、や、む、し、と、を、ゆ、さ、り、み、あ、れ、じ、他、令、
智、徳、秀、え、人、お、い、教、あ、り、と、ま、く、た、の、む、づ、く、し、
年、あ、令、れ、笑、え、え、よ、し、み、あ、の、こ、あ、つ、く、浮、

ちんちんお米あしぬたきり色多し。い理とあしき
 ぶりのハ智とたのこ女と元つ。寵とたのこ我と
 たて。とてもたぶ付ハ火急り。迫りて歌
 うれい。思なりと謂る。



世八

牡丹睡猫

牡丹蒼下睡猫在

蝶とそり

蝶ありあり

福ありあり

い。係縁に

た。買人

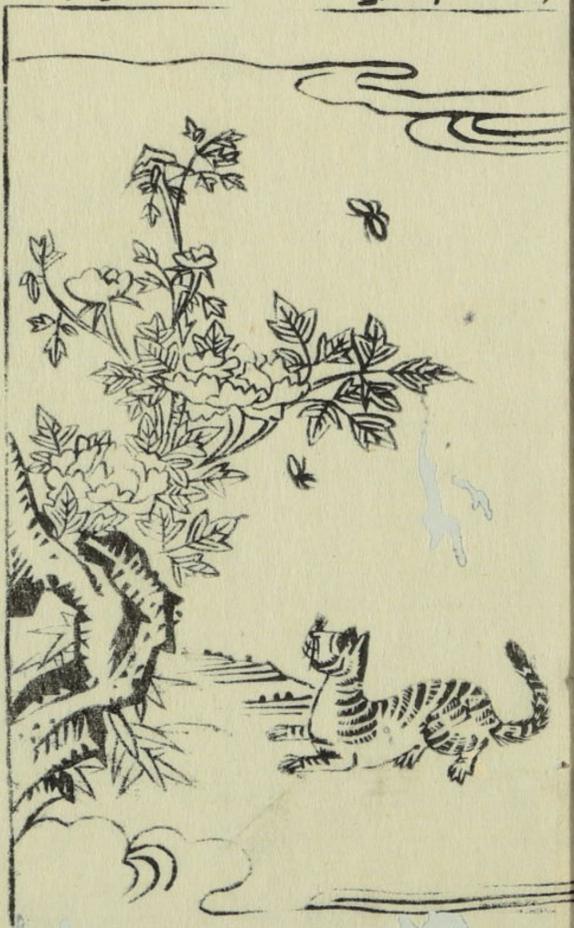
んええ。海

世六

陶淵明

陶淵明の晋の世

の柳と



給

~~~~~



